



各クラスの彩りを響かせた合唱コンクール

校長 敦澤 雅規

10月23日（木）に、RISURUホールにて合唱コンクールを実施しました。短い合唱練習期間でしたが、一回一回の練習を大切にしながら本番を迎える、当日は聴いている人に感動を与えるような素敵なかいないうまくいかないこともあったことでしょう。でも一つ一つ解決しながら頑張ってきたことだと思います。本番は他の人が審査をして順位をつけざるを得ませんが、クラスで培ってきた努力や思いやり、熱い想いや友情は、クラスの仲間だけの大切な宝物です。これからもそのかけがえのない宝物を大切に育ててほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様方には、ご多用のところお越しいただきありがとうございました。合唱はいかがだったでしょうか。これからも三中生を温かく見守り励ましていただけたら幸いです。

～10月の全校朝礼での話より～

先週の合唱コンクールでは、素晴らしい合唱をありがとうございました。みんなが心を一つにまとめて、真剣なまなざしで歌う姿に感動しました。私が2学期の始業式に話した、元プロ野球選手のイチローさんの話を覚えていますか？「目標」を達成するには、真剣に考え、それを続けていくこと。逆に言えば、真剣に考え続けていけば、「目標」はいつか達成可能だ、という話です。合唱コンクールでは、あなたの、クラスの目標は達成できましたか？

1年生は、明るく元気に躍動するような歌声で、楽しそうに歌っている姿を見ていて、とても幸せな気持ちになりました。初めての中学校での合唱コンクールでしたが、よく声を出して頑張りました。

2年生は、「声変わり中」の男子も大勢いるにもかかわらず、男女のハーモニーとボリュームが素晴らしい、とても伸びやかな歌声を聞かせてくれました。さらに飛躍するであろう来年が、今から楽しみです。2年生のみんな、期待していますよ。

そして、3年生の、RISURUホール中に響きわたる各クラスの合唱には、鳥肌が立ちました。どのクラスも声量があって迫力満点で、順位をつけることが難しい合唱でした。短い練習期間の中で、よくぞ難しい曲をここまで歌い切ったと思います。「どうだ後輩たち。これが三中の3年生だ！」というPRIDE、3年生の「底力」を感じました。

いずれにしても、各学年・各クラスの様々な思いのこもった合唱を披露することができたのではないかでしょうか。大きな口を開けて、目を輝かせて一生懸命に歌う三中生、仲間の合唱を真剣に聞き、大きな拍手でたたえることができる三中生を、私は誇りに思います。合唱コンクールで得た団結力や友情を、ぜひこれから学校生活に活かしていってください。

